

- ひびき ① 「社会貢献」 — 組合の未来を創造! —
- 組合行事 ② 第30回 配線設計技能コンクール大会
- お知らせ ④ 太陽光発電に係る京都市「景観基準」研修会開催
④ 一般用電気工作物調査業務連絡会を開催
- ひろば ⑤ 影の仕事



兵庫県 姫路市 広嶺山 52

広 峯 神 社

官兵衛の祖父・重隆の代に黒田家は備前・福岡から姫路に移り、広峯神社の御師（おし）が配る神符（おふだ）とともに黒田家秘伝の目薬を売って財を蓄え、黒田家発展の基礎を築いた。現在も御師屋敷の建物が残る。

- ひびき ① 「社会貢献」 — 組合の未来を創造！ —
- 組合行事 ② 第30回 配線設計技能コンクール大会
- お知らせ ④ 太陽光発電に係る京都市「景観基準」研修会開催
- ④ 一般用電気工作物調査業務連絡会を開催
- ひろば ⑤ 影の仕事



「社会貢献」 — 組合の未来を創造！ —



滋賀県電気工事工業組合
理事長 鹿野敏夫

政府は、エネルギー政策の中長期的な指針として、『エネルギー基本計画』で原子力発電を『重要電源』と位置付け、一定割合の長期的な活用方針など、電力安定化による日本経済の発展にとって重要な施策を打ち出す見通しであり、早々の閣議決定を目指しています。その『エネルギー基本計画』の中で、地球温暖化問題をはじめとする環境、エネルギーなど、特に太陽光発電設備、エコ給湯設備、省エネ機器の販売等に貢献できる我々電気工事業界は、その大いなる担い手であり、市場の成長が大きく期待できると考えています。その一環として、一昨年7月、当工組会館屋根に40kwの太陽光発電設備を設置し、さらに昨年10kwの増設を行いました。その設備を組合員の施工研修、顧客説明会、見学会などに活用することで太陽光発電設備の一層の普及拡大を図るとともに、クリーンエネルギーへの転換という国民的期待に少しでも応えていきたいと思っています。昨年度はその売電の一部を原発問題・震災で苦しむ方々に、また台風18号の豪雨により甚大な被害を受けた被災者の皆様に支援するため、義援金を滋賀県

に対し寄贈させていただきました。今後も、継続して売電の一部を社会貢献として寄与していく所存であります。

また他の社会的貢献事業として、関西電力(株)様より業務委託を受けております「定期調査業務、竣工調査業務」は、地域住民に安全、安心を提供し、今以上に地域に密着したサービスを提供出来るよう努力している所であります。さらに、災害時における緊急救護活動の防災協定も、電気工事組合では、関西では初めて、全国で3番目という早さで、滋賀県をはじめ県下すべての13市6町の行政先様との締結を果たす事ができ、今年2月には関西電力(株)様と災害時協力協定の締結をさせて頂きました。これについては要請に応じて防災訓練の参加等の実施、さらに組織の充実、強化を図っている所であります。その他、昨年末に組合本部がある地元草津市青地町との災害時における組合会館の避難場所の提供、停電時における太陽光を利用した携帯電話の充電電源等の提供契約を結んでおります。それと、今年度最も重点的に取り組んで行きたい社会的貢献事業に、障害者自立支援事業があり、現在もその準備を進めている所であります。

私ども滋賀県電気工事工業組合といたしましては、今後も業界の責任を全うすると同時に、社会貢献の出来るより強い運営基盤を作りあげていき、業界・地域発展のため全力を尽くす所存であります。

第30回 配線設計技能コンクール大会

今回で最終回となる関西電気工事工業会主催の「第30回配線設計技能コンクール大会」が、和歌山県電気工事工業組合の協力のもとに平成26年2月14日（金）ダイワロイネットホテル和歌山において開催されました。当日は昨夜から降り続いた雪で会場周辺はもとより、名城和歌山城を雪景色にするなどの天候にもかかわらず、中部近畿産業保安監督部近畿支部長をはじめ、近畿支部の皆様、

関西電力(株) 電力流通事業本部ネットワーク技術部長はじめ関西電力(株)の皆様、(一財)関西電気保安協会技術部マネージャー様、パナソニック(株)エコソリューションズ社様、近畿電設資材卸業組合連合会様のご来賓を頂き、盛大に執り行われました。

9時に始まった大会式典では開催県である和歌山県電気工事工業組合の狩谷理事長による開会宣言、関西電気工事工業会の向山会長の開会挨拶、関西内線工事研究会からは関西電力(株)電力流通事業本部ネットワーク技術高市部長のご挨拶を頂き、その後9時30分より関西2府4県の工組選出の24名の選手により競技が開始されました。課題は木造2階建ての新築住宅を、快適電化配線住宅推奨基準に適合し、かつ経済性を考慮したものとし、2時間30分以内に完成させるものです。競技終了後直ちに審査が始まり、審査結果は団体賞、個人賞は別表の通りの結果となりました。坂元審査委員長から「今回は非常に完成



沖蔦近畿支部長

度も高く、お客様の利便性を重視したものとなっていた。若干の記入漏れや記号誤りはあったが、本当に優秀付けがたいものとなっていた」との講評があった。

表彰式では各賞の表彰後、中部近畿産業保安監督部近畿支部の沖蔦支部長より次のようなご挨拶を頂きまし



向山大会会長

た。

「本日、関西地区第30回配線設計技能コンクールが盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。この記念すべき第30回配線設計技能コンクールに参加されました選手の皆様方には日頃の実力を十二分に発揮されご健闘されましたことに敬意を表します。個人の部、団体の部に受賞されました皆様方に改めまして本日の受賞を心からお喜び申し上げます。

本日、皆様方の作品には非常に優劣をつけがたいものでありました。先ほどの審査委員長の方からの講評がありましたように、若干の配線に対する心配りというものの中に差があったように思います。しかし、皆様方が本日手書きされた設計図には皆様方の実力は勿論として、電気設備を通してお客様に快適、かつ安心と安全な生活をお届けする、そのような気持ちがこもっていたと思い、まさにこれは匠の技と申せましょう。匠の技を皆様方に維持して頂くために品質能力の維持と共に日々能力の向上を図ることが必要と感じます。このコンクールでは設計をあえて手書きで実施することで設計プロセスを再確認し、自由な設計思想の中に思いを図面に表す、まさに能力向上を図る貴重な機会となっているものと思います。どうか皆様方にはこの貴重な経験をもとに今後とも個々の能力の向上に努められますようお願い申し上げます。また、府県ブロック毎の団体別にもコンクールに挑まれました。この機会を通し

て今後とも団体内は勿論のこと他の団体とも意見交換をされ、お互いの品質能力の向上とともに後輩への指導にも貢献して頂きますようお願いいたします。」

最後に、西野大会副会長より開催県の和歌山県に謝意を述べられ、今回をもって配線設計技能コンクールは終了となるが、次からは技能競技大会と内容を改めて進めていくとの紹介と、今後とも関係各位のご協力をお願いしたいとの挨拶があり大会は無事終了しました。

懇親会

今大会で30回続いた配線設計技能コンクールも来年度からは技能競技大会に模様替えすることになり、最後を記念して大会終了後さやかな懇親会が執り行われました。



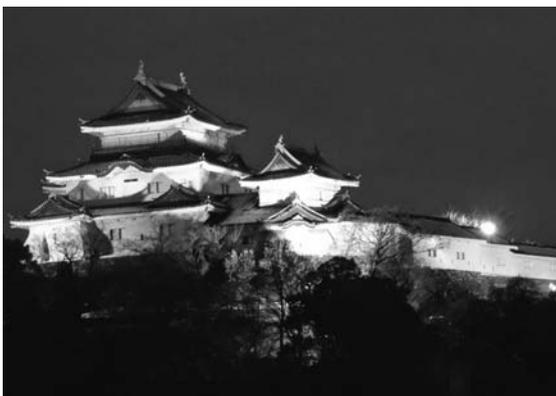
狩谷理事長

懇親会では和歌山県電気工事工業組合の狩谷典男理事長より開会の挨拶の後、滋賀県電気工事工業組合の鹿野理事長の乾杯の発声の後、選手、大会関係者、ご来賓の参加により和やかな懇談が実施されました。途中懇親会場のライトダウンがなされてライトアップされた和歌山城が鮮やかに展望でき、本大会の最終回を祝っているようでした。懇親会の締めくくりには京都府電気工事工業組合松井理事長の挨拶と、奈良県電気工事工業組合の尾上理事長による万歳三唱でお開きとなりました。配線設計技能コンクールとして最後となる今大会も準備、運営に当たって頂きました和歌山県電気工事工業組合役員の方々、事務局の方々の尽力により成功裏に終了しました。

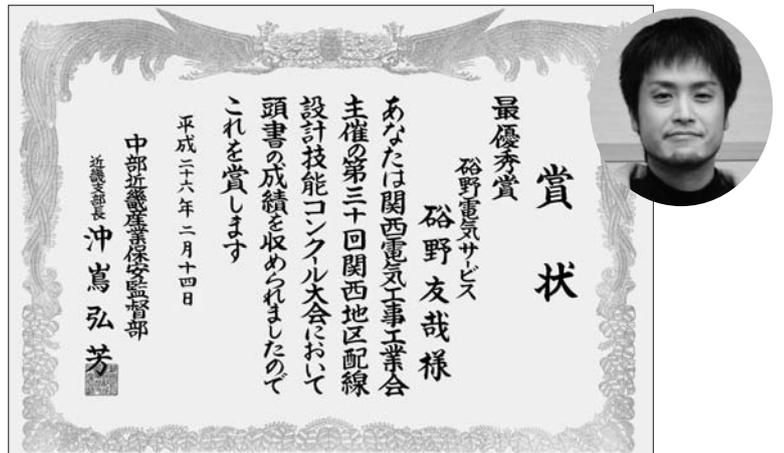
成績発表 (敬称略)

団体賞	第 1 位 全日本電気工事業工業組合連合会 会長賞 和歌山県電気工事工業組合
	第 2 位 関西内線工事研究会 会長賞 滋賀県電気工事工業組合
	第 3 位 関西電気工事工業会 会長賞 奈良県電気工事工業組合
個人賞	◇最優秀賞 (中部近畿産業保安監督部 近畿支部長賞) 碓野電気サービス 碓野 友哉
	◇優 秀 賞 (関西内線工事研究会 会長賞) 福崎電業(株) 平山 琢 森田電気商会 古市 泰幸 大谷電気(株) 西 眞史
	◇優 良 賞 (関西電気工事工業会 会長賞) (有)ヤスフク電設 安福 健太 楨電機 楨 浩一 昭洋電工(株) 原 寿一 松田電気工業(株) 寺田 将人 (有)永富電気商会 永富 正治

(個人賞は各賞順不同です。)



和歌山城



最優秀賞 碓野さん

京都電気消防設備団体連絡協議会 太陽光発電に係る京都市「景観基準」研修会開催



松井代表幹事

京都電気消防設備団体連絡協議会では、京都市担当部署と太陽光発電設備の積極的な普及に向けた意見交換会を開催してきました。この意見交換会での協議を踏まえ、12月18日(水)と19日(木)(各日とも10時から12時10分まで)に、京都市の担当者を講師としてお招きし、太陽光発電の普及拡大に向けた景観基準に関する研修会を、京都府電気工事技術会館(当組合3階)にて開催しました。

18日は、京都電気消防設備団体連絡協議会の松井章代表幹事(京都府電気工事工業組合理事長)の挨拶のあと、温暖化対策の意義について、京都市環境政策局地球温暖化対策室の宮崎秀夫担当部長より説明を頂き、その後、助成金制度とシミュレーション、融資制度については地球温暖化対策室の西本昌弘担当係長より説明、次に景観については、都市計画局都市景観部景観政策課の上原智子課長補佐より、太陽光パネル設置時の景観に関する運用基準を詳細に説明頂きました。

質疑応答の後、協議会の藤井正幹事(京都府電気工事工業協同組合代表理事)の閉会の挨拶により終了しました。

19日は、協議会の牧野伸彦幹事(京都府電機商業組合理事長)の

挨拶の後、18日と同内容の研修会を開催、協議会の門野正宣幹事(一般社団法人京都消防設備協会副会長)の閉会の挨拶により終了しました。

今回の研修会では、協議会加盟団体の組合員、会員、関係メーカー、電材業者より2日間で176名の参加を頂きました。また、研修会を受講された方に対し、京都電気消防設備団体連絡協議会から修了証書と修了証を交付しました。年末のお忙しい中ではありますが、多数の皆様にご参加頂きありがとうございました。



研修会会場の様子

(組合行事) 一般用電気工作物調査業務連絡会を開催

一般用電気工作物調査業務連絡会を平成25年11月27日に堂島の中央電気倶楽部会議室で開催しました。関西電力(株)から委託を受けた定期調査、竣工調査の実施について、調査業務品質の維持・向上を図り、業務の円滑かつ効率化を図るため関係者(工組役員、調査センター長、工組事務局長)が集まり、各調査センターの実態報告や情報交換を実施しました。

今年は、調査業務連絡会を始める前に、関電サービス(株)で実施しているiPod touchを使用した定期調査システムについて説明を受け、現在、我々工組が使用しているOCRカードによる業務処理との比較について勉強しました。

調査業務連絡会では、従来通り各調査センターの

独自に作成した資料により説明を進めましたが、各調査センターは他所比較が出来るデータを持っていないことや、資料項目が統一されていないこともあり、自所の位置づけが分からないと言う問題点が明らかになりました。

次年度以降の会議の進め方に大いに参考となるもので、より有意義な会議体に進めて行けるようにしたいものです。

また、関西電力(株)本店からも出席頂き、他の調査機関との比較等をして頂いておりますので、各調査センターにとって貴重なデータを持ち帰ることが出来ました。



影の仕事

京都府電気工事工業組合 副理事長 山田 利治



昨年、11月10日付の毎日新聞の余録に、文化勲章を受章された高倉健さんの弁が紹介されていました。

『日本人に生まれて本当に良かったと、今日思いました』言葉を継いで『役はほとんど前科者をやりました。そういう役が多かったのに、こんな勲章を頂いて。一生懸命やっているのちゃんと見てもらえるのだな』と。

確かに網走番外地など、受刑者、やくざといった役柄を演じ、俳優としての土台を築いた人である。「文化の発展や向上にめざましい功績のある人なのか」と、訝る声があってもおかしくないという。なるほど、文化勲章を受章されるほどの人といえ画家、作家という芸術家、それにすごい業績を挙げた学者ばかりである。高倉さんのような方は異端なのかもしれない。余録では、『高倉さんの映像には自らの弱さ、不甲斐なさに向き合い、迷いながら生きる人物が良く描かれている。恵まれない境遇に生まれたり、何をやってもうまくいかない時を過ごしたり、日の当たらない所ばかりを歩んできたりした人にも、いつか喜びがもたらされる。この国は元来そういう寛容な風土、懐の深さがあるし、ちゃんと見

ている人がいるのだよ。82歳の高倉さんはそんな思いを込めたのではないだろうか。「日本人に生まれて本当に良かった」と、口に出来る瞬間は誰にも等しく、たくさん訪れてほしい』と結ぶ。

思えば私どもの生業は前提となる事業の影にあって、背景からそれを支え自ら主張することも許されず、限られた予算枠内で黙々と事業を進めなければならない。脚光を浴びることもなく、喝采を博するでもなく、華麗さを競うこともない。余録の言う「恵まれない境遇」、日の当たらないところばかり歩む仕事に励むことを余儀なくされているのが私どもではないだろうか。

高倉さんの言う「一生懸命やっているのちゃんと見てもらえる」ということを、仕事に重ね合わせて受け止めさせてもらった。「この国には元来そういう寛容な風土、懐の深さがある」ということを信じていかなければ、職人、作業員を叱咤激励も出来ないし、私ども自身の日常も存在しないと思います。

高倉健さんの文化勲章受章の弁や佳^{べん}佳^{よし}である。



でんせつ

でんせつ編集委員会

委員長	橋詰	源治
委員(大阪)	小森	敏鑑
委員(京都)	植田	隆夫
委員(兵庫)	坂元	宣之
委員(奈良)	福本	幸一
委員(滋賀)	藤本	一矢
委員(和歌山)	吉川	幸夫

発行日／2014年4月 第173号
 発行／関西電気工事工業会(2府4県)
 大阪市北区本庄東2丁目3番38号
 TEL 06(6371)5534・FAX 06(6371)2338
 発行人／向山 和義 事務局 栗田 直訓

発行部数 7,600部 年4回(1・4・8・11月)発行

2014

NO.2

平成二十六年陽春号(季刊発行)

発行所 関西電気工事工業会